

令和4年5月11日

各団体の長様

岐阜県商工労働部長

新型コロナワクチン接種の促進に係る県相談窓口の設置について

平素から本県の商工労働行政にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今般、ワクチン接種推進担当大臣から別添文書が発出され、政府として、ワクチン接種を希望する若い世代の方々への接種を推進するため、自治体と企業等が連携して行う団体接種の取組などを推進する考えが示されたところです。

これを受け、県では、新型コロナワクチンの接種に係る企業・団体の皆様からの相談窓口を下記のとおり設置し、県大規模接種会場等における企業・団体単位での接種に関するご相談を受け付けておりますので、各団体の構成員の皆様への周知をお願いいたします。

また、副反応が出た場合でも安心して従業員が休みを取れるワクチン休暇の導入等、就業環境整備に引き続き努めていただきますよう、あわせて周知をお願いいたします。

【相談窓口】

岐阜県健康福祉部感染症対策推進課 ワクチン接種対策室
市町村支援第一係

TEL : 058-272-8206

e-mail : vaccine03@govt.pref.gifu.jp

※まずは、上記メールアドレスまでご連絡ください

商工労働部労働雇用課 労働企画係			
係長	須川	担当	清生
電話	058-272-1111(代)内線 3122		

令和4年5月

拝啓

日頃より、ワクチン接種推進の取組に関して、多大なご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大を抑え、医療の逼迫を回避しながら、できる限り日常の生活を取り戻していくためには、新型コロナワクチンの接種を進めることが大変重要と考えております。

3回目のワクチン接種については、若い世代も含め本格化してきました。全人口に対する3回目のワクチン接種率については、5月6日（金）公表時点で、全国で53.6%となっています。しかし、特に若い方の接種率が低い傾向となっています。新型コロナに感染した場合、若い方でも重症化するケースがあり、いわゆる後遺症の心配もあることから、高齢者はもとより、若い方についても3回目接種は重要です。

最新の国内データでは、3回目接種を受けた方は、2回接種した方よりも、新型コロナに感染する割合が大幅に低いことが分かってきました。また3回目接種により重症化予防効果も長く保たれます。このため、できる限り早く、できるだけ多くの希望する方に接種いただけるよう、ワクチン接種の加速化が必要であると考えております。

政府としても、職域接種のほか、自治体と企業・大学等が連携して行う団体接種の取組などを推進する考えです。

つきましては、企業等で働く従業員の方々について、一層ワクチン接種が進むよう、会員企業・団体等の皆様に対して、周知や働きかけを行っていただくなど、引き続きご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

敬具

ワクチン接種推進担当大臣
松野 博一

新型コロナワクチンについて 皆さまに知ってほしいこと ～追加(3回目)接種篇～



3回目接種により、感染予防効果や重症化予防効果を高めることができます。

日本で接種が進められているワクチンは、新型コロナウイルスに対して、高い発症予防効果等がある一方、感染予防効果や、高齢者においては重症化予防効果についても、時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが示唆されています。

一方、3回目接種により、低下した感染予防効果や重症化予防効果等を高める効果があることが、臨床試験や様々な疫学研究等で報告されています。

(参考) ワクチン接種歴別の新規陽性者数（10万人当たり）

※3/28～4/3 ※単位：人

	0-11歳	12-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-79歳	80-89歳	90歳以上
未接種	465.0	692.4	708.6	530.5	416.1	456.5	249.9	107.9	169.6	823.5	3439.7
2回目接種済み		256.6	294.3	225.2	189.0	127.7	89.6	79.7	68.9	66.4	78.2
3回目接種済み		104.3	143.2	131.1	101.2	52.1	33.8	25.1	18.2	19.2	34.5

出典：第80回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 事務局提出資料 資料2-4 P2を基に作成



3回目接種後の副反応は、いずれのワクチンも、2回目と同様の症状が見られますが、武田/モデルナ社のワクチンについては、2回目と比べて、発熱などの症状が少ないことが報告されています。

ファイザー社及び武田/モデルナ社の薬事承認において、3回目の接種後7日以内の副反応は、一部の症状の出現率に差があるものの、おおむね1・2回目と同様の症状が見られています。

武田/モデルナ社のワクチンにおける3回目接種は、1・2回目接種で用いた量の半分の量となります。

(注) 接種後の症状のうちリンパ節症は、2回目より3回目の方が多く見られます。

出典：特例承認に係る報告書より



新型コロナワクチンについて皆さんに知ってほしいこと

～追加(3回目)接種篇～



交互接種(1・2回目接種とは異なるワクチンを使用)した場合でも十分な効果と安全性が確認されています。ご自身のためにも、早く接種できるワクチンから接種いただくことをお勧めします。

日本では現在、3回目接種に関して、ファイザー社又は武田／モデルナ社のワクチンが薬事承認されていますが、1・2回目接種時に用いたワクチンの種類にかかわらず、どちらのワクチンでも十分な効果と安全性が確認されています。

米国・英国・ドイツ・フランスなどでも、1・2回目接種で使用されたワクチンの種類にかかわらず、3回目接種でmRNAワクチンが推奨されています。



継続的に安全性を確認し、安全性に関する情報を提供していきます。

3回目接種についても、接種開始後の継続的な安全性を確認するため、アナフィラキシーや医師が予防接種との関連を疑う重篤な症状が発生した場合は、法に基づき報告を受け、専門家による評価を行っています。副反応疑い報告状況や接種後の健康状況調査の公表等を通じて、引き続き、安全性に関する情報提供を行っていきます。



予約に空きがあれば、2回目接種日の6か月後から接種可能です。

追加接種の予約枠に空きがあれば、一般の方も2回目接種日の6か月後から3回目接種が可能です。外国人も含め、接種の対象となるすべての国民が、全額公費（無料）で受けられます。お住まいの市区町村から3回目用の接種券等が送付されましら、ワクチンを受けたい医療機関や会場をお探しのうえ、予約をお願いします。対象であるにも関わらず、ご自宅に接種券が届かない場合は、お住まいの市区町村へお問い合わせください。

また、キャンセルが出て急遽接種を行う場合など、接種券がまだ手元になくても接種できる場合があります。



1・2回目接種がまだの方も、引き続き接種できますので、ワクチン接種をお願いします。

厚生労働省新型コロナワクチンセンター

0120-761770

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

受付時間

9時00分～21時00分
(土日・祝日も実施)

詳しくは
厚生労働省Q&A



企業等の新入職員向けのワクチン接種促進に向けた取組事例

組織名	取組内容
日本郵船株式会社 (NYKグループ健康管理センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>4月14日（木）に実施した新入社員研修において、産業医より「（強制はできないが）可能な限り接種していただきたい」と推奨した。</u> ・新入社員への3回目接種については、研修の合間を縫って5月中に実施予定。
株式会社帝国ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・入社前にワクチンについての重要性を伝え、新入社員全員に接種の意向を確認した。 ・希望者に対しては、新入社員研修に影響を及ぼさないよう、時間に制約のある集団接種ではなく、新入社員のみの特別枠を設定し、入社日（就労時間内）に個別接種を実施した。 ・接種の翌日は休日となるよう、日程の配慮を行った。 また、接種により副反応が生じた際は、「ワクチン休暇（有給・日数制限なし）」が取得できる旨を事前に案内した。
ソフトバンク株式会社	<p>①内定期間中、職域接種実施の案内メールを一斉送信 (メールの内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社では、ワクチン接種による健康・安全な職場環境の早期構築、コロナの感染拡大を防止することでの社会貢献を目的とし職域接種を実施していること ・職域接種を希望する場合は、入社前であっても接種可能であること ・接種そのものや会社での接種（職域接種）を義務づけるものではないこと、接種を希望する場合は各地域・自治体での接種を含め各人で判断すること <p>②入社後、職域接種実施案内メール一斉送信 (メールの内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記に加えて入社日付で特別有給休暇「新型コロナワクチン接種後副反応休暇」を付与（3日）していることの案内 <p>③社内イントラ「Withコロナポータル※」の案内 ※ワクチン職域接種、唾液PCR検査、働き方ガイドライン等を社内へ周知するイントラサイト</p>
全日本空輸株式会社 ※3回目接種については、 新入職員のみではないが、 社内周知の取組事例	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2回目接種時は、各社の新入社員で接種を希望する社員への配慮（接種枠の確保・会場への引率等）を行った。 ・3回目接種時は、新入社員に特化した周知・対応は行っていない。（採用数自体が相当少ない。）接種の推奨に向けた各種周知は行っているが、20代に特化したものは行っていない。 <p>◇各種周知の例</p> <p><社内全体の周知></p> <ul style="list-style-type: none"> ①社長メッセージによるワクチン接種の推奨（動画、文書） ②社内イントラにおける職域接種3回目の周知 (公的機関が発信する情報と弊社の業務に関連する情報（自分ごとと捉える情報）のベストミックス) ③産業医による情報発信（社内イントラネット、安全衛生委員会での周知、ワクチンに関するセミナーの実施） <p><各センターにおける周知></p> <ul style="list-style-type: none"> ①エッセンシャルワーカーとしてワクチン接種が重要と全センター員に対し周知 ②職域接種各回開始時のセンター内全配置者へ意向確認実施
新潟県庁 ※自治体の取組事例	<ul style="list-style-type: none"> ・メールや府内LANの掲示板で募集をかけた上で、4月に新入職員も対象に含めた追加接種を実施した。 ・新入職員研修の1コマを活用して、保健師より追加接種について案内・推奨した。